

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2023 **2**

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL : 03-3260-6331 FAX : 03-3235-4324

Mail : jwaf@jwaf.jp

発行責任者 / 川嶋高志 発行年月 / 2023年2月



宝剣岳

INDEX

- 2~3.....2月18-19日・第35期第1回評議会を開催
- 4..... 部局・専門委員会の活動、全国的な会議と集会の予定
- 5..... 1月の事故一報一覧
- 6~7..... 1月の労山基金交付一覧
- 8..... 全国連盟の活動

「登頂を終えて」

厳冬期も過ぎ春の気配が感じられる宝剣岳。天候に恵まれ多くの登山者が無事に登頂を終えた喜びを胸にカールを下る。撮影している者にも幸福感が伝わってくる光景だ。いつもこのような状況だと良いのだが？

(岡孝雄・プリムラ山の会/東京)



第35期第1回評議会を開催

平和と自然がとても大切、今こそ山へ！

日本勤労者山岳連盟の全国評議会が、2月18・19日に東京都府中市のホテルで開催されました。新型コロナウイルス感染拡大がピークアウトしたことからZOOM配信は行わず、参加者みなが会場に集い、顔を合わせて討議し交流しました。この評議会には48地方連盟中31地方連盟から36名の評議員(定数51名)、傍聴2名と全国連盟役員など総計67名が出席しました。

議案への意見や質疑応答につづき、出席されたすべての地方連盟から、各地での活動が報告されました。登山学校や会員拡大の工夫、自然保護の取り組みなど、発言された内容はJWAF journal3月号にてご紹介します。

両日の討議を経て、第1号議案(2022年度活動総括と2023年度活動方針)、第2号議案(2022年度財政活動総括と2023年度予算案)が賛成多数で可決され、第3号議案(役員補充3名)が拍手で承認されました。新しい理事は、秋田誠さん(山梨)、宇田川道恵さん(埼玉)、加治郷子さん(岡山)の3名です。

労山加盟の団体と会員数は、昨年11月末時点で前年より16団体292名が減り、562団体16,814名となりました。地方連盟別では、13道県で165名の会員増(兵庫県連68名増、岡山県連36名増など)、6県が現状維持、30都道府県で457名の会員が減少しました。秋田県は唯一の加盟会が解散し、労山組織の空白県となりました。

2022年の労山会員の山岳事故の集計や分析、労山基金の交付実績や登録状況、財政の収支については、3月末に発行する評議会の「決議・決定集」に掲載します。地方連盟へ各会1冊分をお送りするとともに、労山ホームページにも掲載します。

2022年末の労山組織数

562 団体 ・ 16,814 名

(前年比16団体292名減)

平和は登山の基礎であり、豊かな自然は将来にわたる共有財産です

ロシアのウクライナへの侵略戦争がはじまり、1年を迎えます。戦争は最大の環境破壊ですが、それに加えて、ロシアがヨーロッパ諸国へ天然ガスの供給を停止したことにより、温室効果ガスを発生させる化石燃料の大量消費、危険な原発の再稼働を促すことにもなっています。

全国労山は昨年3月にロシアのウクライナ侵略に反対し、中止を求める会長談話を発表しました。また、日本を代表する山岳4団体も連名で反対声明をだし、昨年10月に開催した「第18回全登研集会」でも反対決議を採択しました。

日本でも戦争か平和か、日本の進路が問われる問題が国民に突きつけられています。日本が攻撃を受けなくとも、他国の基地を攻撃するための準備として、防衛力予算を5年間で43兆円へ大幅に増額する方針を提起し、いま国会でも審議されています。国民の賃金は上がらず、物価高騰が襲いかかるなかで、戦争の準備のための軍事費を大幅に増額することは許せるものではありません。

全国連盟は、活動の理念を『趣意書』で明確

にしています。その前文で「我が国の近代登山は1930年代に国民的なスポーツとして発展しましたが、登山の正常な発展は当時の軍国主義の支配と侵略戦争の拡大によって著しく阻害された」ことを指摘しています。そして「確固とした世界平和は海外登山の基礎である。諸国民との相互理解、友好をさらに固めることが強く求められている」ことをうたい、「豊かな自然は将来にわたる国民の共有財産である。これを守り育てていくことは登山者の重要な責務である」ことを強調しています。また、『労山自然保護憲章』の前文では「地球温暖化、酸性雨・霧など地域・国境を越えた地球規模の環境問題」も重視しなければならないことを指摘しています。

私たち登山者には、地球環境を守る立場から、『趣意書』が示すように、話し合いと外交努力で戦争を回避し、軍事費の増強にも大きな関心を持っていくことが求められています。



あらたに3名の理事が承認されました

よろしくお祈いします

秋田誠さん(彷徨倶楽部関東/山梨)

ワクワクする山登りを！の彷徨倶楽部関東(山梨県)という会の代表をしています。南ア深南部に、はまっています。朝な夕なに甲斐駒ヶ岳を眺めつつ、妻と愛猫2匹との暮らしです。会員数が減り続きでお疲れ気味の労山にカンフル剤を打つような仕事をしたいと思っています。どうぞよろしくお祈いいたします。



宇田川道恵さん(大宮勤労者山岳会/埼玉)

理事就任にあたり「労山の60年」を改めて読み返しました。先人の熱い思いやこれまで積み上げてきた歴史の重みをひしひしと感じると同時に、これを引継ぐ理事の役目の重さを感じています。歴史を大切にしながらも柔軟な考え方で労山の後押しをできるよう努めていきたいと思っています。

加治郷子さん(クラブ MONTATA /岡山)

音楽非常勤講師として高校に勤務。本業は声楽家。大学卒業後、職場の同僚と山歩きを始める。'04年、岡山県勤労者山岳会に入会、'10年に岡山の同門らと「クラブ MONTATA」を設立。裏山から厳冬期のアルプスまでオールラウンドに山を楽しんでいる。体の使い方が声楽の発声に通じるところがあり、クライミングにはまった時期もある。



部局・専門委員会の活動

■ 遭難対策部

2022年の事故件数は過去二番目に多く334名。1月事故の半数は転倒

2月の遭難対策部会で確認した事故一報は、40件40名。1月31日までに届いた12月分の事故一報で2022年の事故者数が確定した。過去二番目に多い334名の事故者数だった。この18年間では最多である。事故の傾向や特徴は、次回報告する。

2023年の1月は、32件中16件の転倒事故が発生。山スキーの転倒事故も4件含まれている。バランスを崩したり、足を取られての転倒事故であるが、基礎的な技術や不注意の要因が大きいのと思われる。岩場での登攀や氷瀑登攀は7

件、岩場では登攀終了後の下山中に10m程滑落した事例があった。また登攀終了点で転落し、ロープをつかんで手に10針近くの負傷を負った事故も発生している。氷瀑では、アックスが剥がれ6m程転落している。いずれも、一つ間違えば重大な事故に繋がる。登攀の技術を高める事と力量・体力に見合った登山を心がけていただきたい。滑落停止の訓練中にピッケルを胸に当て肋骨骨折、訓練での事故は極力避けて頂きたい。指導者の丁寧で慎重な安全対策を徹底する事が大切だと考えている。（遭難対策部長・石川 昌）

2023年の集会・会議予定

★ 機関会議

全国組織担当者会議	6月10日～11日 福岡県
全国自然保護担当者会議	6月17日～18日 埼玉県秩父郡「長瀬荘」

★ 行事と集会

第37回全国雪崩講習会	2月3日～5日 白馬梅池高原 (予定通り終了)
全国救助技術交流集会	7月8日～9日 北海道小樽市
全国ハイキング学校	9月30日～10月1日 西日本
若手クライミング講習会	9月30日～10月1日 長野県・小川山
全国登山学校担当者交流会	10月28日～29日 栃木県・古賀志山
登山と山岳文化の教養講座	3月～2024年1月 全国連盟事務所・他 ※参加者募集中。詳細はJWAFホームページをご覧ください

★ 国際会議・集会

アジア山岳連盟(UAAA)理事国会議	開催未定
クライミング・フェスティバル	カザフスタン
アジア山岳連盟(UAAA)年次総会	ネパール

★ 友好山岳団体と共同の集会・会議など

全国遭難対策協議会	7月 東京・文部科学省 (文部科学省、環境省、警察庁、消防庁、日本山岳・スポーツクライミング協会等が主催)
第7回「山の日」記念全国大会	8月10日～11日 沖縄県 (全国山の日協議会が主催)

1月12日から1月31日までに届いた事故一報

事故一報の受領順で掲載

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	22.12.26	道東	53	女	三段山	山スキー	転倒	スキー滑走時にバランスを崩して転倒した。	右膝関節骨折
2	22.12.31	兵庫	51	女	燕岳	積雪期	転倒	中房温泉からの下山中、道の凍結により転倒した。	左肘関節脱臼
3	22.12.25	京都	66	男	天王山	無雪期	転倒	登山道の石段で尻もちをつき左肘をついた。	左肩腱板損傷
4	22.12.29	東京	53	男	武能岳	積雪期	転倒	駐車場から登山口に向かう途中で滑り転倒した。	左脛骨骨幹部骨折
5	22.12.31	兵庫	45	男	剣岳	積雪期	凍傷	剣岳下山時に天候が悪化し凍症を負った。	凍傷
6	22.12.30	茨城	34	男	横岳	氷瀑	転落	裏同心F5で両アックスが外れ、2m転落した。ヘリ搬送。	踵骨骨折
7	22.12.28	京都	87	男	愛宕山	無雪期	転倒	山頂付近の本殿入り口で躓きたたきに膝を打った。	膝蓋骨骨折
8	22.11.27	石川	73	男	八ヶ岳	無雪期	転倒	下山中、急な勾配の登山道で滑り転倒した。	左肩関節上筋部部分断裂
9	23.1.7	千葉	74	男	妙義山	登攀	滑落	登攀を終了し、下山中落葉により滑って約10m滑落した。	右脛骨骨折
10	23.1.5	岡山	73	男	書写山	無雪期	転倒	石に滑り転倒し体をかばい手をついた。	中指副韧带損傷
11	23.1.6	広島	62	女	烏帽子岩山	無雪期	転倒	下山口近くで転倒し、救急車で搬送された。	左足関節内骨骨折
12	23.1.7	道央	52	女	ニセコアンヌプリ	山スキー	転倒	滑走中、スキーが雪面に刺さり転倒した。	左足首脱臼骨折
13	23.1.7	千葉	65	男	一難破山	山スキー	転倒	バランスを崩して転倒した。	右足アキレス腱断裂
14	23.1.9	東京	47	女	上河内岳	積雪期	転倒	凍結した場所で滑り転倒した。	右腓骨遠位部骨折
15	23.1.9	長崎	77	女	水辺の森	無雪期	転倒	ゴール地点直前で突起物に躓き転倒した。	左小指骨折
16	23.1.13	静岡	67	女	大蔵経寺山	無雪期	転倒	石の上の落葉で滑り転倒した。	右手首骨折
17	23.1.14	神奈川	55	女	洪の湯	積雪期	転倒	靴ひもに引っ掛かり転倒した。	歯牙破折
18	23.1.6	岡山	72	女	高御位山	無雪期	その他	足に力が入らず、荷物を分散し関節にサポーターを付けて下山した。	右膝関節炎症
19	23.1.7	愛媛	37	男	室内ジム	人工壁	転落	ボルダリング中に転落し、顔がホールドに当たった。	鼻骨骨折
20	23.1.8	京都	61	女	南八ヶ岳	積雪期	その他	滑落停止訓練中にピッケルが胸に当たった。	肋骨骨折
21	23.1.8	岡山	63	女	溪照山	無雪期	その他	登山道で歩行困難になり仲間に背負ってもらい下山した。	左足外半月板損傷
22	23.1.14	兵庫	59	男	室内ジム	人工壁	転落	トップロープで練習中に転落した。	肋骨骨折
23	23.1.15	道央	40	女	富良野岳	山スキー	転倒	滑走中、足を取られ転倒した。	右膝内側半月板損傷
24	23.1.16	和歌山	56	女	御殿山	積雪期	転倒	アイゼンの前爪が石に引っ掛かり転倒した。	肋骨骨折
25	23.1.20	群馬	65	男	湯ノ丸山	山スキー	転倒	滑走中、停止する際に逆エッジとなり転倒した。	小指捻挫、首捻挫
26	23.1.21	岐阜	30	女	赤岳	積雪期	病気	赤岳天望荘で発熱し、救助隊の支援で下山した。	発熱、衰弱
27	23.1.5	東京	53	女	棒ノ折山	無雪期	転倒	急な下りの途中で、ザレ場で滑り転倒した。	左脛骨腓骨骨折
28	23.1.21	大阪	36	男	八ヶ岳	氷瀑	滑落	南沢大滝で足を滑らせ3m程滑落した。	脛骨骨幹部骨折
29	23.1.22	東京	56	女	芝倉岳	積雪期	転倒	雪の深みにはまり右膝を捻った。	右内側副韧带損傷
30	23.1.22	岡山	69	男	観音寺山	無雪期	転倒	小石に滑って転倒した際に、折れた木に臉を刺した。	挫減創
31	23.1.23	大阪	62	女	ラオス	海外登山	墜落	ラオス国でのクライミングで墜落した。	肋骨骨折
32	23.1.24	東京	65	女	天覚山	無雪期	転倒	登山道の下り坂で転倒した。	右下腿両骨折
33	23.1.22	兵庫	59	男	烏帽子岩	登攀	転落	最終ピンにクリップした後に転落しロープを掴んだ。	左親指裂傷
34	23.1.29	東京	38	男	三峰山	氷瀑	転落	保持していたアックスが氷から剥がれ6m程転落した。	捻挫
35	23.1.29	兵庫	64	女	不動岩	登攀	滑落	リード中、足を滑らせ滑落した。	背中尾髄骨打撲
36	23.1.22	徳島	74	女	妙体山	無雪期	滑落	登山道のザレ場で足を滑らせ滑落した。	右脛骨腓骨骨折
37	23.1.28	神奈川	66	男	天狗岳	積雪期	凍傷	東天狗岳の通過で、下山後指が白くなり膨れた。	凍傷
38	23.1.29	道央	42	男	奥手稲山	山スキー	転倒	下山中、転倒し雪面に肩を強打した。	右肩腱板損傷
39	23.1.31	東京	65	男	霧積氷瀑群	氷瀑	墜落	リード中、支点にしていたアックスが抜け墜落した。	人差指基部骨折
40	23.1.16	道央	69	男	三段山	山スキー	その他	雪面の強度テストを行った後、肘に違和感があった。	上腕骨内側炎症

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	4	2	3	7	3	1	0	20
女性	0	1	2	7	7	3	0	0	20
合計	0	5	4	10	14	6	1	0	40

	無雪期	積雪期	氷瀑	山スキー	登攀	海外登山	人工壁	訓練	合計
男性	5	3	4	4	2	0	2	0	20
女性	8	7	0	3	1	1	0	0	20
合計	13	10	4	7	3	1	2	0	40

	墜落	転落	滑落	転倒	体勢	凍傷	病気	その他	合計
男性	1	5	2	8	1	2	0	1	20
女性	1	0	2	13	0	0	1	3	20
合計	2	5	4	21	1	2	1	4	40

	骨折	脱臼	断裂	捻挫	裂傷	打撲	損傷	その他	合計
男性	8	0	2	2	1	0	3	4	20
女性	12	1	0	0	0	1	3	3	20
合計	20	1	2	2	1	1	6	7	40

労山基金 2023年1月交付認定の一覧

組織内資料 複写・転載禁止

No.	地方連盟	口数等	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	埼玉県	50代男性 5口	2021/12/26 12:00頃	八ヶ岳連峰 西天狗岳 登山道	積雪期登山	凍傷	下山後、グローブ脱着時に右手小指の異変に気付き、地元病院にて診察。凍傷と診断。	右手第五指凍傷
2	埼玉県	60代男性 10口	2021/12/26 12:00頃	八ヶ岳連峰 天狗岳 天狗岳西尾根	積雪期登山	凍傷	下山後、手袋を脱いだら両手に凍傷を負っていたことが判明。	両手凍傷
3	神奈川県	20代男性 10口	2022/02/26 22:00頃	静岡県沼津市内 クライミングジム	人工壁	転・滑落	ボルダリングジムで最後の一手をデッドで取りに行こうとしたところ振られて落下し、マット外に着地。ジム内に整休師がいたため応急処置の後夜間救急に運んでもらった。	右踵骨折
4	東京都	30代男性 5口	2022/01/22 20:00頃	南ア 北岳 頂上付近	冬季登山	凍傷	1/20-23で北岳バットレス第4尾根の登山を実施。22日がバットレス4尾根の登山日だったがセンター発が4:30、登頂が20:00、テント撤去が23:00という長時間行動と雪の中の登山により両脚中心に凍傷になった。山中では違和感がなく、翌日下山後に変色と水ぶくれが発生して病院を受診、2度の凍傷と診断。	凍傷（第2度） 主に左足第一指、第三指と右足第一指
5	福岡県	60代男性 5口	2022/02/19 15:00頃	九州 英彦山中岳	積雪期登山	転倒	南岳より中岳山頂直下、左足が滑り、肩を岩に強打。	左肩脱臼骨折
6	岐阜県	50代女性 5口	2022/03/03 13:00頃	白山系 毘沙門岳 830m地点	山スキー	転倒	尾根線を滑降中、左ターンでバランスを崩し転倒。転倒時、右膝に衝撃があったが雪で冷やしてしばらく休んだ。滑降を再開した直後の左ターンで、再度右膝に強い衝撃があり転倒した。その後歩いて下山。	右膝前十字靭帯損傷 内側副靭帯損傷 半月板損傷
7	京都府	70代女性 5口	2022/03/13 13:45頃	比良山系 蛇谷ヶ峰北稜 標高690m付近	積雪期登山	雪の踏み抜き	積雪の下が空洞になっており、その上を歩いた時に踏み抜き、左膝を捻った。痛みがあったのでサポーターを付けて下山した。下山後、雪で冷やして帰宅。翌日受診したら前十字靭帯断裂と診断され、手術。	左膝前十字靭帯断裂
8	福岡県	60代男性 5口	2022/04/09 14:30頃	九州 磯間岳から中岳 への途中	無雪期登山	転・滑落	ロープ場の岩場を登っているとき、左足を次の岩にかけようとした際に岩場にかかっていた右足を滑らせ、ロープをつかんだまま3mほど真下に落ち、足をついた瞬間にアキレス腱を切った。	右足アキレス腱断裂
9	奈良県	70代男性 1口	2022/05/08 11:00頃	六甲 蓮葉峽 大扉風	登山	転・滑落	ロープダウン時、足元がよく見えず体のバランスを崩して着陸した。	左足アキレス腱損傷
10	道央地区	50代女性 5口	2022/06/18 13:00頃	北海道 手稲山 琴似発寒川 Co.612	沢登り	転・滑落	発寒川遡行中、Co.612mの下の泥壁と岩が混じったへつり地帯で足を滑らせ、約3m下の沢に滑落。沢には流木がありその流木に右膝を強打及び捻った。	大腿骨外顆後方骨挫傷
11	愛知県	70代女性 5口	2022/07/09 14:00頃	中部地方 立岩 立岩の北東の斜面	登山	その他	当日は合宿訓練の一環として、岩場での訓練を行った。最後の訓練で懸垂下降を行ったところ、下降してすぐ右側にふられ岩と衝突。その際、右手首を木にぶつけた。翌日痛みが取れず受診し、骨折と診断。	右手首骨折
12	東京都	50代女性 3口	2022/07/17 09:00頃	奥多摩 大岳山 天狗滝付近	無雪期登山	転倒	千足登山口より登り、8:45頃に天狗滝付近で転倒。両手をつくが顎を岩角にぶつけ、裂傷を負う。絆創膏で処置し、登山を続行。大岳山より鍋尾根のコースを御岳に変更。鍋割山、奥の腕を経て下山。御猿神社付近にて再度転倒し、尻もちをつく。臀部に痛みはあったがそのまま下山。帰宅後、受診して治療を受ける。	顎部裂傷、両手指打撲、尾骨の骨折
13	道央地区	50代男性 5口	2022/07/31 15:00頃	北海道 赤岩山 小樽赤岩クライミング エリア	登山	転・滑落	観音岩フランクルートで3rdクライマーとして登攀中、登る事が困難なため終了点のピローヤーに降りろしてもらう事を要求。ルベルシステムにクイックドロワーを付けて引いて降りろそうとした途端、ロープが一気に流れて推定9m懸垂。始点にグラインドフォール後に3m程滑落。	脳挫傷 踵・腰・肋骨骨折

組織内資料 複写・転載禁止

14	道央地区	40代男性 5口	2022/07/31 10:00頃	北海道 赤岩山 小樽赤岩 東エリア	登攀	転・滑落	リードクライミングで登攀開始直後、1ピン目でバランスを崩し滑落した。50cm程度の落下であったが、左手を岩に強打した。	左手小指骨折
15	岡山県	60代女性 10口	2022/07/31 10:00頃	南ア 北岳 北岳より下山中の白根 御池小屋手前300m	無雪期登山	病気	北岳登山後、左ひざ関節に痛みが発生。歩行困難となり、会員や途中で出会った山梨県富士山岳救助隊の隊員や医師の支援を受けながら白根御池小屋まで下山する。翌8月1日7:15に山梨県富士山岳救助隊に緊急で病院へ搬送、受診。	左膝関節症の炎症(膝関節に水がたまったことによる強い痛みに伴う歩行困難)
16	埼玉県	70代男性 3口	2022/08/27 09:30頃	奥武蔵・秩父 武川岳 名郷バス停から約30分	無雪期登山	転・滑落	登山開始後、約30分山道から滑落して足を骨折し歩行不能となった。救急要請して、救急隊が到着。	右大腿骨遠位端骨折
17	福岡県	60代女性 10口	2022/08/28 11:00頃	九州 福智山 七重の滝(三の滝)	沢登り	転・滑落	三の滝を左よりトコ状を登っている時、確保のロープで引かれた際にバランスを崩して1m程滑落。その際、岩に左側面が当たり痛めた。	左側第7肋骨骨折
18	道央地区	60代男性 10口	2022/08/21 12:40頃	北海道その他 尻別岳	無雪期登山	その他	会山行でリーダー以下9名で尻別岳登山、登りは特に問題無かったが下山途中で右膝が痛くなりゆっくり下山した。帰宅後、激痛に見舞われ、23日に病院でX線診断および膝の水抜きとヒyaluron酸注射治療、9月6日MR検査で右膝内側半月板損傷が判明、9月26日入院、27日手術。	右膝内側半月板損傷(半月板部分切除手術)
19	東京都	50代男性 10口	2022/08/24 09:15頃	北ア 五竜岳 遠見尾根 小遠見山付近	無雪期登山	転倒	8月21日から24日にかけて鹿島槍ヶ岳～八峰キレット～五竜岳を縦走。最終日、遠見尾根を下山中、終盤に近い遠見山の濡れた木道で転倒した。平たい板を並べたような木道で、足を左斜め方向に滑らせ横向きに転倒。右手を石につき負傷した。	右手擦過傷 右人差し指脱臼
20	静岡県	60代女性 3口	2022/08/21 13:00頃	白山 砂道新道 延命水付近	無雪期登山	転倒	前日まで雨。当日雨は止んでいたが、事故発生時はガスが発生していた。濡れた階段状になったスラブ状の石で右足を滑らせ転倒。その際、右手を付き右首を骨折。	右橈骨遠位端骨折 全治2ヶ月
21	愛知県	60代女性 1口	2022/09/03 12:30頃	中央アルプス 田立の滝 不動滝を通過した下山 道	無雪期登山	転倒	不動滝上部テラスで昼食後、11時55分頃に下山開始。12時30分頃に平坦な濡れた木道に足を滑らせて転倒。その際に右手について右手首を痛める。その場で応急的にシップ貼り付け、その後腫れがひかないので5日に医療機関受診。9日にMR検査で骨折が判明。	右手首骨折 全治1か月
22	静岡県	50代女性 3口	2022/09/04 10:20頃	富士山と周辺 清水コース 藤の里トンネルの近く	無雪期登山	転倒	下山途中、ゆるやかな斜面で足がすべって尻餅をついた際に右手でかばったため骨折したと思われる。	右橈骨遠位端骨折
23	東京都	50代女性 5口	2022/09/09 15:30頃	北ア 立山連峰 雄山から大汝山へのガ レた稜線(下り) 大汝休憩所30m位手前	無雪期登山	転倒	無風の雨の中、緑色の苔が付着した濡れた丸い岩に左足を置いたところ、滑ってバランスを崩し、とっさに左手のひらに岩をついた。直前、右上の大汝山の頂上を見上げ、視線を足元から外していた。	左橈骨遠位端骨折
24	茨城県	60代女性 1口	2022/10/11 13:00頃	尾瀬・南会津 燧ヶ岳から下山約2時 間、広沢田代手前	無雪期登山	転倒	御池駐車場に向けて下山中、バランスを崩し転倒。左下肢を石に打ち付けて裂傷を負う。	裂傷縫合術施行
25	東京都	70代男性 10口	2022/10/21 08:30頃	奥武蔵・秩父 立橋山 立橋尾根 標高1,000m付近	無雪期登山	転・滑落	立橋尾根を下降中、手掛かりとして掴んだ木の根が折れて1.5m程滑落した。	左側肋骨打撲



全国連盟の活動

2022年2月

- 3日 山筋ゴーゴー体操推進委員会
- 3～5日 全国雪崩事故を防ぐための講習会(長野県・白馬梅池高原) 川嶋理事長、石川副理事長が参加
- 4日 会計監査
- 7日 三役会議
- 同日 自然保護委員会
- 8日 遭難対策部会
- 9日 組織部会
- 16日 機関誌・紙検討委員会
- 同日 第12回理事会
- 18～19日 第35期第1回評議会
- 28日 労山基金運営委員会

第12回理事会の討議事項

- ① 第35期第1回評議会の運営について:議長・書記・資格審査委員・議事運営委員と閉会挨拶の役員を確認。全国役員は評議会会場に18日(土)11時集合。会場準備の後、12時から打合せ。夕食は二部制で全国役員は19時40分から。
- ② 来年度の予定と予算について:一部修正して作成する。一般財団法人山岳基金に関しては顧問税理士と協議中のため、決まり次第、財団法人の会議を開催して予算案と活動計画を作成する。その部分について評議会後に一般会計および基金会計の修正がある。
- ③ その他:ホームページについてスマホ対応などの修正を行う予定。

季刊「登山時報」3月初旬より購読申込の受付を開始します!

- ★年4回発行で、A4サイズ40ページの冊子。
- ★購読料は年間1,200円(送料込み)でご自宅へ郵送します。山と仲間の活動がわかり、読みごたえある誌面にご期待ください。

「ハイキングA・B・C」第5版のご案内

木元康晴さん(登山ガイド)から推薦の言葉をいただきました

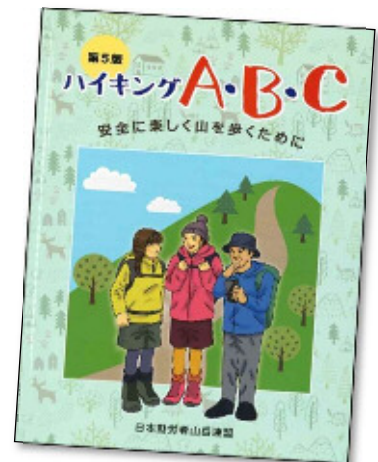
日本勤労者山岳連盟・ハイキング委員会が発行した初級者向けテキスト「ハイキングA・B・C」第5版が、大好評です。昨年9月から発売開始して以降、50冊、100冊という大口のまとまった注文があいついでいます。

このほど、登山ガイドの木元康晴さんから、推せんの言葉が寄せられました。(木元さんは「IT時代の山岳遭難」「山の安全管理術」=いずれもヤマケイ新書の著者 ハイキングA・B・C第5版の編集にも力を貸していただきました)

★定価:300円(30部以上まとめてご購入の場合1冊250円)

★申し込み:日本勤労者山岳連盟・事務局まで

メール jwaf@jwaf.jp、FAX 03-3235-4324



この『ハイキング A・B・C』は、これからハイキング(登山)を始めようとする一般の人向けの、優れたテキストです。歩き方や持ち物など基本的なことから、地図読みのポイントや天候判断といった、経験の浅い人が悩みがちなことまでが、読みやすい文章で簡潔にまとめられています。専門的な知識のない方でも、しっかりと理解できるでしょう。

そして今回の第5版では、基本的なスマートフォンの使い方まで記されて、より現代的な内容になりました。入門者、初心者の方が楽しく安全に山を目指すことに、とても役立つ冊子です。できるだけ多くの皆さんに、手にとって読んでいただければと思います。

登山ガイド・木元 康晴